

**自主的審議テーマ「高齢者や支援を必要とする人に
きめ細かな支援を行うための仕組みについて」**

地域協議会の部会の一つである健康福祉部会では、令和3年12月から「高齢者や支援を必要とする人にきめ細かな支援を行うための仕組みについて」というテーマで自主的審議を行ってきました。審議を進める中で「民生委員は複数の町内会を担当していて負担が大きい」「防災士がいない町内会がある」など様々な課題が見えてきました。多様な生活課題を抱える方々が増加する現状において、きめ細かな支援を行うためには、特に防災対策については民生委員と町内会、防災士がもつと連携して意思疎通を図るべきだということが分かりました。

まずは、民生委員、防災士、町内会役員、地域住民が相互に協力しあう体制の意識付けを図ることが必要です。そのためには、各町内会の自主防災組織図に民生委員、防災士名を明記することにより、立ち位置と役割を明確にし、年度当初に町内会役員、民生委員、防災士が当該年度の地域活動など諸課題について意見交換することが大切です。防災士がいない町内会は、積極的に防災士の資格取得を促すとともに、区内の防災士同士が連携することも大切です。町内会によっては、人口減少や高齢化により、自主防災組織の運営が困難な地域もあるかもしれませんが、この地域に住み続けるために、災害時や支援が必要になった時の対策を考えていくことが重要と考えています。

**令和4年度地域活動支援事業報告会を
開催しました**

3月3日(金)に、「地域活動支援事業報告会」を開催しました。地域活動支援事業は平成22年度から始まった事業ですが、令和4年度で終了します。

報告会では、令和4年度に事業を実施した団体から事業内容の発表をしていただき、参加者から活動の成果や今後の取り組みなどの質問がありました。

また、令和5年度から始まる「地域独自の予算」について総合事務所から説明がありました。「地域独自の予算」は、地域の課題の解決や活力の向上に向けて、地域の団体や地域協議会などが提案する取組を地域と市が一緒になって実現していくための予算です。詳しく知りたい方は、総合事務所総務・地域振興グループにお問い合わせください。

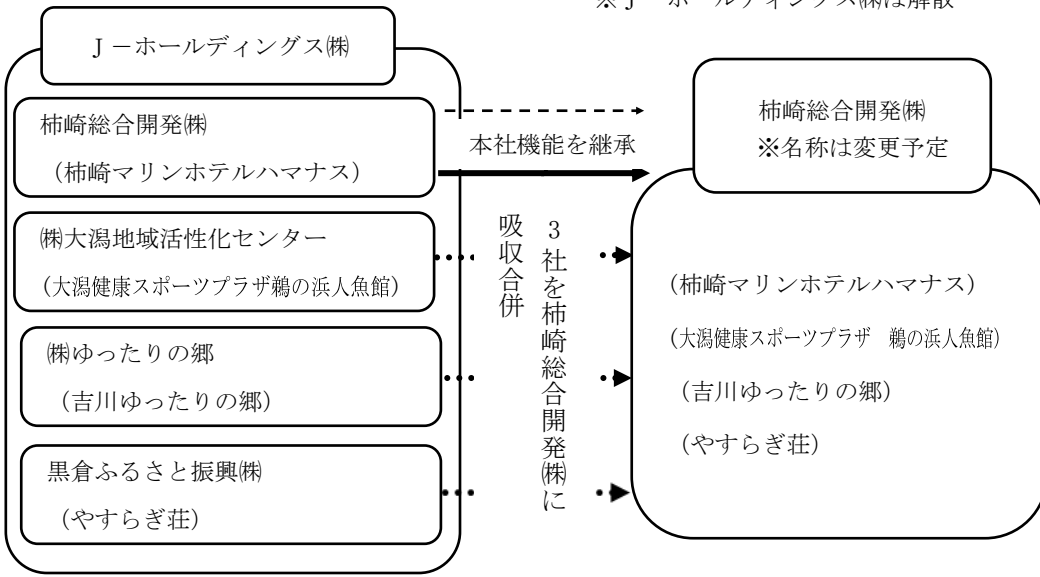


事業会社吸収合併のイメージ図

【集約（吸収合併）前】

【集約（吸収合併）後】

※ J-ホールディングス㈱は解散



J-ホールディングスグループの整理について

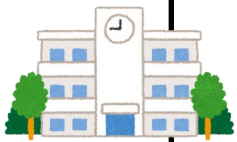
やすらぎ荘を含む市が設置している温浴宿泊施設については、厳しい経営環境の中、より一層の経営健全化が求められている状況です。そうした状況の中、事業会社を集約し、J-ホールディングス㈱を解散することにより、経営の効率化を図ることとなりました。

意見書に対する回答

旧筒方小学校において漏水が発生している件について、先の地域協議会において漏水修繕の早期実施について意見書を市へ提出しました。その意見書に対する回答が市から次のようにありました。（一部抜粋）

平成16年3月に閉校した筒方小学校は、「筒方地区地域資源加工施設」として生まれ変わり、地域の皆さんが特産品加工や「ふきんとまつり」「そばまつり」などの体験交流イベントを主催するとともに、日頃は、地域課題の解決に向けて話し合う「地域の拠点」として活用されています。こうした取り組みは、地域活性化や持続可能なコミュニティの構築につながるものと考えており、地域の皆さんが熱意をもって主体的に取り組まれる活動につかまされては、引き続き支援していきたいと考えています。

同施設につきましましては、現在の利活用形態を踏まえ、適切な維持管理に努めていきます。



《地域協議会の動き》

◇令和4年度

- ▼ 1月20日 第13回地域協議会
- ▼ 2月16日 第14回地域協議会
- ▼ 3月3日 令和4年度地域活動支援事業
報告会
- ▼ 3月23日 第15回地域協議会

2022

今冬は、少々の集中降雪があり、珍しく真冬日となった日があったものの、積雪は最大でも平年の半分程度にしか至りませんでした。恒例の寺野遊雪まつりが開催されなかったのは、残念ですが今後に期待したいと思います。

我々の任期は残り一年あまりですが、地域独自の予算への対応や、複数の自主的審議事項等、果たすべき事柄は多数存在します。

今後共、区民の皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

（編集委員 長藤 豊）